

腎泌尿器外科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、藤田医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

| | |
|---------------------------|--|
| 研究課題名 | 膀胱癌に対する膀胱全摘除術における周術期、腫瘍学的アウトカムに関する後ろ向き観察研究 |
| 研究機関名 | 藤田医科大学 |
| 研究機関の長 | 学長 湯澤 由紀夫 |
| 担当科等 | 腎泌尿器外科 |
| 研究責任者 | 腎泌尿器外科 教授 白木 良一 |
| 試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名 | 非該当 |
| 研究の意義・目的 | 膀胱癌における膀胱全摘除術の有用性と安全性を検討し、患者さんの合併症の減少、予後の改善が可能な治療として確立することを目的としています。 |
| 対象となる患者さん | 2005年9月1日から2025年1月31日までに膀胱癌と診断された患者さん |
| 研究の方法 | 藤田医科大学病院ならびに藤田医科大学岡崎医療センターにおいて、生年月日、年齢、現病歴、既往歴、検査データ、細菌培養所見、病理組織所見などの臨床情報とともに、最終生存確認日、再発日、死亡日等の転帰情報を電子カルテより抽出する。抽出したデータを元に、データベースを作成し、ロボット膀胱全摘除術群と開腹膀胱全摘除術群に分け、血液検査所見や病理組織学的所見、周術期合併症、予後(全生存期間、癌特異的生存期間、無再発生存期間)などについて統計学的に検討する。 |
| 研究期間 | 倫理審査承認日 ~ 2030年1月31日 |
| 研究に用いる試料・情報 | 情報：組織、診療情報、解析データ等 |
| 外部への試料・情報の提供 | なし |
| 試料・情報の利用又は提供を希望しない場合 | 本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、下記問い合わせ先まで申し出てください。 |
| 研究の資金等と利 | 研究資金：本学内の研究助成費ならびに公的研究費(科研費)を使 |

| | |
|--------|---|
| 益相反 | 用します。 物的・人的支援： 外部の物的・人的な支援を受けません。 利 益 相 反： 研究責任者と研究分担者に、本研究に係わる開示すべき利益相反はありません。 |
| 問い合わせ先 | 藤田医科大学 腎泌尿器外科 担当者：教授 白木 良一 〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98 Tel: 0562-93-9257 FAX: 0562-93-7863 |

改訂日：2025年1月31日